

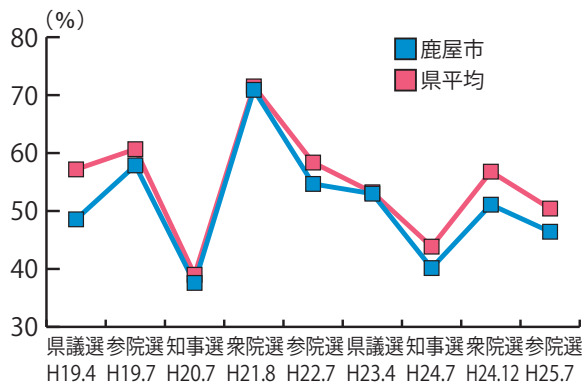
# 自分たちの未来を1票にこめて

近年、各種選挙における投票率は低下しており、特に20代から30代前半の投票率は全体に比べて非常に低い状況となっています。このため、鹿児島県明るい選挙推進協議会では将来の有権者である小学校及び中学校の児童・生徒を対象に、選挙の仕組みや投票参加の意義について理解を深め、将来の政治参加を促すきっかけとすることを目的に出前授業を実施しています。

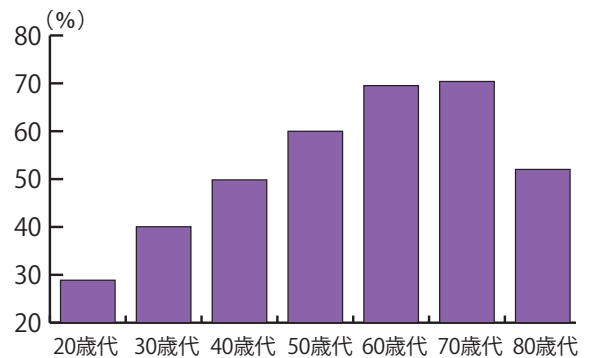
投票は、自らの意思を立候補者を通じて投票用紙に表明し、住みやすい社会を構築するための大切な政治参加です。家族で選挙についてもう一回一緒に考えてみましょう。

【問い合わせ】 市選挙管理委員会 ☎ 0994-31-1142

## ●投票率の推移



## ●年代別投票率(H26.4 市議会議員選挙)



市における各種選挙の投票率は年々低下しており、県内平均も下回っています。

## ●出前授業を開催

10月23日、上小原中学校で選挙啓発出前授業が行われ、3年生29人が選挙について学習しました。

授業は、DVDを使ったミニ講座から始まり、クイズを交えながら選挙の意義や歴史、仕組みを楽しく学んだほか、「投票できたのは税金をたくさん払っていた男性のみ」、「女性も投票できるようになった」ことなど、授業でも習っている内容を復習しました。

その後、体験学習として模擬知事選挙が行われ、「学生投票率100%を目指す会」の学生3人が扮する立候補者が政見放送で鹿児島の未来を訴えました。生徒たちは真剣に聞き入り、立候補者の政策を聴く力、そして自らが望む未来を実現してくれる候補者を選ぶ力を学びました。

最後に、実際に使用される投票用紙や投票箱を使い選挙当日と同じ状況での模擬投票が行われ、計数機を使った開票の様子なども興味深く見入っていました。

参加した生徒は、「初めて投票所や開票の様子を見ることができ、選挙の大切さを実感できました。20歳になったら必ず投票します」と話してくれました。



明るい選挙推進運動のシンボルは「白いばら」です。公明正大な選挙を通じて、この国の輝く未来を創造しようと選定されたものです。

市では、日本一の規模を誇る「かのやばら園」を活かした街づくりを推進しています。

ばらの町として誇れるような投票率の向上を目指しましょう。

